

第6回科学の甲子園ジュニア全国大会 開催概要

1. 目的

科学の甲子園ジュニアは、理科、数学などにおける複数分野の競技に協働して取り組むことを通じて、全国の中学生が科学の楽しさ、面白さを知り、科学と実生活・実社会との関連に気付き、科学を学ぶことの意義を実感できる場を提供することによって、科学好きの裾野を広げるとともに、未知の分野に挑戦する探究心や創造性に優れた人材を育成することを目的とする。

2. 全国大会の実施・協力体制

- ① 主催 国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST)
- ② 共催 茨城県、茨城県教育委員会、つくば市
- ③ 後援 文部科学省(予定)、全日本中学校長会(予定)、全国中学校理科教育研究会(予定)、公益社団法人日本理科教育振興協会
- ④ 都道府県教育委員会、その他の関係機関の協力を得て開催する。

3. 開催日程

- ① 平成30年12月7日(金)～9日(日)の日程で全国大会を開催する。
- ② 大会の日程は以下のとおり(行事は変更される場合がある)。
 - 12月7日(金) 開会式、オリエンテーション
 - 12月8日(土) 筆記競技、実技競技、フェアウェルパーティー
 - 12月9日(日) 協働パートナー等によるブース展示、表彰式

4. 場所

つくば国際会議場(茨城県つくば市竹園2丁目20番3号)及び
つくばカピオ(茨城県つくば市竹園1丁目10番地1)

5. 出場チーム

- ① 各都道府県教育委員会は各都道府県の全国大会出場チームを選考する。その選考方法は各都道府県教育委員会に委ねる。
- ② 出場チームは中学1、2学年の生徒(中等教育学校前期課程にあっては同年次の生徒)で構成する。
- ③ 出場チームの員数は6人とする。

6. 競技の種類

大会競技は筆記競技と実技競技からなる。

① 筆記競技

筆記競技は理科・数学等の複数分野において、実生活・実社会との関連、融合領域に配慮した出題とし、生徒の修得済みの知識に加えて、競技に必要な新たに示された情報を統合することで課題を解決する内容とする。

② 実技競技

実技競技は、ものづくりの能力、コミュニケーション能力等を用いて課題を解決する力を競うものとする。

7. 競技の形式

筆記競技、実技競技ともに、各出場チームが競技ごとに定められた人数からなる競技チームを構成し、課題を分担、相談するなど協働してその成果を競い合う形式のものとする。

競技数、競技者数及び競技時間は以下の通り。

種目	競技数	競技者数	配点比率	競技時間
①筆記競技	1競技	6名/1競技	筆記競技と実技競技の配点比率は1:2とする。	70分程度/1競技
②実技競技	2競技	3名/1競技		90分程度/1競技

8. 表彰等

- ① 主催者が定めた審査委員会が、各競技の成績点数の合計によって優勝チームを決定する。
- ② 優勝チームに、文部科学大臣賞を授与する。
- ③ 主催者は、協賛企業等を広く募り、その他の表彰を授与する。
- ④ 大会成績上位の出場チームの成績を公表する。出場チームの成績は当該教育委員会に提供する。

9. 費用負担

- ① 全国大会開催にかかる費用、及び、出場チームの選手及び引率教員2名の全国大会会場までの往復交通費と宿泊費等は、原則としてJSTが負担する。
- ② 都道府県代表選考、及び、選考された代表チームの研修にかかる費用のうち、認められるものについてはJSTがその費用を支援する。但し、都道府県にも応分の負担を求めるものとする。

10. 都道府県への支援

9.②の支援のほか、JSTは都道府県が代表チームを選考、研修できるよう、以下のような支援を行う。

- ① 筆記競技、実技競技の問題の例の提供
- ② その他選考に係る情報の提供

以上